

公表

## 事業所における自己評価総括表

|                |                            |           |    |
|----------------|----------------------------|-----------|----|
| ○事業所名          | 放課後等デイサービスひなたのあかり          |           |    |
| ○保護者評価実施期間     | 令和 8年 1月 16日 ～ 令和 8年 2月 6日 |           |    |
| ○保護者評価有効回答数    | (対象者数)                     | 17 (回答者数) | 14 |
| ○従業者評価実施期間     | 令和 8年 1月 16日 ～ 令和 8年 2月 6日 |           |    |
| ○従業者評価有効回答数    | (対象者数)                     | 7 (回答者数)  | 6  |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和 8年 2月 12日               |           |    |

## ○ 分析結果

|   | 事業所の強み（※）だと思われること<br>※より強化・充実を図ることが期待されること                      | 工夫していることや意識的に行っている取組等                                                                                                        | さらに充実を図るための取組等                              |
|---|-----------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------|
| 1 | 1時間の学習支援の時間があり、宿題を含めた学習支援を行っていること。                              | ・毎朝のミーティングで前回の利用者の学習内容、理解度などの共有を行い、全支援員が共通認識のもと支援が行えるよう工夫している。<br>・一人一人に合わせたSSTプリントや課題、学習プリントを用意し、宿題の他に課題に取り組むことができる。        | 一人一人の進捗や理解度に合わせた課題を用意する。                    |
| 2 | 手作りおやつや食事レクリエーションを通じて食の大切さや苦手な食材にも挑戦できること。                      | ・子どもたちが飽きないよう、おやつを毎日ローテーションで提供し、メニューも適宜見直しを行い、食べることへの楽しみが持てるように工夫している。<br>・いただきますの挨拶や食事の姿勢など、命をいただくことへの感謝を意識できるような声掛けを行っている。 | 子どもたちに食べたいおやつや、食事レクリエーションで作ってみたいもののアイデアを聞く。 |
| 3 | 辞める利用者や職員が少なく、一貫した支援を行うことができる。そのような理由から保護者の方から高い満足度の評価をいただいている。 | ・年2回の面談時に支援計画以外のお話しや困りごとなどを気軽に話していただく機会を設けているほか、LINEや電話、メールで随時相談を受け付けている。                                                    | 引き続き子どもたちや保護者の方との信頼関係構築を継続し、丁寧な支援を行っていく。    |

|   | 事業所の弱み（※）だと思われること<br>※事業所の課題や改善が必要だと思われること | 事業所として考えている課題の要因等                                                                                 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等                             |
|---|--------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| 1 | 通学先や相談支援事業所等の関係機関との連携                      | 通学先の先生方や相談支援事業所の担当相談支援員の方々が多忙なため、利用者のことについて相談や情報共有を行いたいが、連絡が取りづらい。（現在メールやLINEも活用しているが、返信がなかなかない。） | 放課後等デイサービスの連絡協議会を通して他事業所がどのように関係機関と連携しているか確認を行う。 |
| 2 | ご家族に対する研修会や程者同士が交流できる場が開催できていない。           | 研修会や交流会を実施しようとすると、土日開催の希望が多く、勤務時間外となるため人員の確保が難しい。                                                 | 安全に効率的に保護者交流等が行える体制づくりを考えていきたい。                  |
| 3 | 第三者評価委員会などの外部機関を運営に取り入れることができていない。         | 外部機関とどのように繋がりを構築すれば良いのか、また体制づくりなどの時間の確保が難しい。                                                      | 市町村や公的団体へ情報を提供してもらおうなどの取り組みを行っていく。               |